

はじめに

本書で紹介した記事は、基本的には二〇〇六年四月から二〇〇七年三月までの間に生起もしくは発覚した差別事件、あるいはこれ以前に発覚し、この間に糾弾会などで集約を確認した差別事件を拾い上げ、そのなかから比較的事実関係が明確で、典型的な事件を選んで編集・紹介している。

対象とした資料は、「解放新聞」中央版や各都府県版、各地研究集会資料や学習会資料、その他、部落解放同盟各都府県連が集約した資料などから収録した。

編集にあたっては、可能な限り資料収集に努めたが、都道府県別索引をみていただければわかるように、都道府県によって紹介した件数に偏りがある。本書に収録されたものがすべてではなく、都府県連段階でも集約しきれていない支部・地協レベルでの未確認情報が多数あるものと思われる。ついては、そういった細かな情報等があれば是非ともお知らせいただけると幸いである。

また、これら収集した差別事件について、①戸籍謄本等不正取得・部落地名総鑑差別事件、②差別投書・落書き・電話、③インターネットによる差別事件、④地域社会における差別事件、⑤就職差別事件、鉦企業・従業員による差別事件、鉦行政・公務員による差別事件、鉦結婚に関わる差別事件、鉦教育現場における差別事件、鉦宗教界における差別事件、鉦マスコミ・出版界における差別事件、鉦エセ同和事件、の一二項目に分類している。ただし、複数の項目にまたがるとと思われる差別事件については、これまでと同様に、より適切と思われる項目に分類した。

本書で紹介した差別事件は氷山のほんの一角にすぎないが、差別の現実を知る手がかりとして、また差別撤廃への取り組みの基礎資料として、少しでも役立てば幸いである。